



# だっこするよ

2023年4月

社会福祉法人茂原高師保育園  
北区立赤羽台保育園

園長 奥戸 昌子

## みんな「同じ」から みんな「違う」へ 交じり合い、育ち合おう！！

櫛の新芽がどんどん伸びています。生命が光輝く春の到来です。4月1日「こどもまんなか社会」を目指し、「こども基本法」が施行され、「こども家庭庁」が設置されました。日本の急激な少子化を止めることができるのか…正念場です。2023年度、48名の新しいお友達を迎えて222名の子ども達と73名の職員で「昼間のおうち、大きな家族」が始まりました。日本国憲法第13条の「個人の尊重と基本的人権」を遵守し、私たちも【子ども中心】の保育を目指します。「こどもまんなか社会」を一緒に創っていきましょう。

「子どもの権利条約」に大きな影響を与えたコルチャック先生の大好きな言葉があります。「子どもはだんだん人間になるのではなく、生まれながらにすでに人間である」と、一人の人間として尊重し「あなたはどうか生きてほしい？」と問いかけながら、その子の意思・言葉を大切に育てて参ります。

乳児組は、育児担当制をきめ細やかに行ない、生活の安心と安定を第一に考えて信頼と愛着関係を築き育てて参ります。幼児組では、同一年齢から異年齢へ、「みんな違ってみんないい 人間はみんな凸凹だ」と子どもも大人も交じり合い、助け合う協同生活をします。また、特にどんだんさん（年長）は、同学年での活動も大切にしています。（3歳はのびのびさん 4歳はぐんぐんさん 5歳はどんだんさんと名称が変わります）

園児数が多い赤羽台で、それを活かして何ができるのだろうか？と。私は、多様な友達の中で過ごし、人間関係の作り方を教えておく（子ども自身が自分達で関係を学ぶ場）ことだと思えるようになりました。異年齢集団は、縦も横も交じり合い、社会そのものです。子ども達は同学年では味わうことの無い経験を重ねて、様々な葛藤を体験しながら、それぞれに他者との関係を作る力を蓄えていきます。毎日が自主練です。これは、大人が教えることのできない力です。この力は、21世紀を生き抜く為に必要な力＝人間力となります。幼児期に経験することで、その子の潜在能力ともつながり、やがて、様々な場面で自分の「軸」として心の幹が育っていくでしょう。それが異年齢保育であると私は信じています。ご不安もあると思いますが、時間をかけてお子さんの様子を見守っていただければと思います。どうぞご理解と協力をお願いいたします。

\*利用者アンケートへのご協力有難うございました。集計結果とご意見への回答を記載しました。1、2階玄関、利用者閲覧書類をご覧ください。いただいたご意見は、全職員で改善へと努力して参ります。2点お伝えします。

1、お迎え時の対応について、保育士によって対応の差異がみられる点について

→保護者の方への対応を全クラス違いが無いよう共通に致します。お子さんの今日のエピソードや体調、もし怪我をした場合はその時の状況などお伝えします。保育中であることから、クラス保育の安全を優先させていただきます。

2、コドモンでのドキュメンテーションの配信について

→保育の主活動内容を配信しております。子ども達が全員映るものではありません。また、保育中での撮影ですので、時には、写真が少ない、我が子が映っていないなどあると思いますが、活動内容をお伝えするもののご理解いただきますよう、また、一週間で全員の様子をお伝えできるように致します。どうぞ宜しくお願いいたします。

3、写真販売について

→現在、2022年度秋から冬の写真販売のご案内を園フォトにて現在しておりますが、今年度から、写真販売をコドモンで行う予定です。販売金額など詳細が決まり次第お知らせ致します。ご理解のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。写真は、3/31 子どもたちのお別れ会 将来の夢を語って旅立つ年長さんです。最高でした！有難う！！